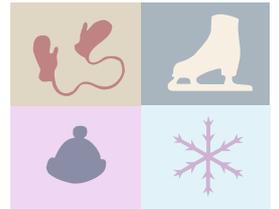


## 2011年！今年の一文字は??

毎年12月になると、一年の世相を漢字一字で表す「今年の漢字」が発表されます。これは、日本漢字能力検定協会が1995年から始めた行事で、昨年は、数ある漢字の中から「暑」が選ばれました。過去には「新」「変」「偽」などの漢字が選ばれていますが、今年は一体どの一文字が選ばれるのでしょうか。振り返ってみると、今年も様々な出来事がありました…。

「震」「災」「波」。これらの漢字を抜きに、2011年を語ることは出来ません。3月11日に起きた東日本大震災は私たちの心に大きな爪痕を残しました。テレビから流れる津波や地震の被害の大きさに、心を痛めた方も多いことでしょう。海外からもたくさんの支援があり、メディアでは日本人の冷静さや強い忍耐力・精神力が報じられました。震災を機に、人とのつながりを求めて結婚を考える人も急増したそうです。辛い経験からこそ「絆」や「和」が生まれることを信じ、復興への道を歩んでいってほしいと願わずにはいられません。ちなみに「震」は1995年に一度選ばれていますが、過去に選ばれた漢字でも、年によって理由や思いが違うということから、再度選ばれることもあるそうです。

他にも女子サッカー「なでしこジャパン」のワールドカップ初優勝や、野田内閣の発足、世界体操での内村航平選手 史上初の個人総合3連覇など、様々な出来事があった2011年。みなさんにとって、2011年はどのような年でしたか？12月12日の京都・清水寺での発表を前に、自分自身の「今年の漢字」を考えてみるのも面白いかもしれません。



『ほまれ』  
澤 穂希/著  
河出書房新社  
H783.4 サ

15歳で代表入り。日本女子サッカー界を牽引してきた澤穂希が、選手として、人間としての歩みを自身の文章で語り、「なでしこジャパン」の栄光の軌跡をたどる。



『ここから。』  
鎌田 實/著  
山本 高史/著  
ベストセラーズ  
F914.6 カマ

この試練の時代を私たちはどう生きていくべきか？「絆」のつなぎ方とは？東日本大震災で想像を超える被害を受けた日本に提案する、新しい尺度のコミュニケーション論。



『12の贈り物』  
道又 力/編  
長尾 宇迦/ほか著  
荒蝦夷  
F913.6 ジュ

東北よ、「3.11」の慟哭を超えよう！岩手県で書き続けてきた12人の作家が、祈りを込めて自選した12の物語。作家からのメッセージとともに贈る短編集。

### 【図書館カレンダー】

※ 毎週**火曜日**は休館日です。

※ **12/29(木)~1/4(水)**は  
年末年始のため休館します。



### 12月 December

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

### 1月 January

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

# 長崎市立図書館 秋の行事報告

## こどもスタッフ体験 「しらべものクイズにちょうせん！」



10月30日、こどもスタッフ体験を実施しました。こどもスタッフ体験では、こどもたちに図書館スタッフ（司書）がどんな仕事をしているのかを知ってもらえるよう、毎回色々な体験内容を準備しています。今回の「しらべものクイズにちょうせん！！」には4名のこどもたちが参加してくれました。

最初にこどもとしょかんの案内、クイズの説明、例題をスタッフと一緒に解いてみました。本の並び方や探し方を理解するにははじめは少し時間がかかりましたが、クイズを解いていくうちにペースも上がり、とても楽しそうな姿が印象的でした。インターネットや、目次・索引の使い方などもおもしろかったようで、充実したスタッフ体験となりました。

## 第4回 長崎学講座

## 「長崎と食の文化」

11月3日、4回目となる長崎学講座を開催しました。講師は長崎ではおなじみの越中哲也先生。「長崎と食の文化」について解説して頂きました。

今回の長崎学講座では、越中先生のお話の他に、宮田修二先生、脇山壽子先生が「食」をテーマに「長崎雑煮とエタレの塩辛」「長崎の郷土料理の特徴と伝承」についてそれぞれ講演して頂きました。また、参加者の高原啓子さんによる「中国雲南省と北ベトナムの食と市場と民族」の写真紹介では、会場の皆さんが、熱心に解説に耳を傾け、スライドショーをご覧になっている姿が印象的でした。

今年で4回目を迎えた長崎学講座でしたが、今回も「長崎が好き」「越中先生が好き」という方々にたくさんお集まり頂き、とても充実した講演会となりました。

今後もこのような、郷土・長崎に関する講演を開催していきたいと思っております。たくさんのご参加ありがとうございました。



このコーナーでは、ひとつのテーマについて2人の図書館員がオススメの本を紹介します！

# ブック・ボタン

今月のテーマは

# 告白

## 『紡がれた言葉の衝撃』

「告白」という言葉には、一種緊張感が漂います。その四つの音に、今にもほとばしろうとする情念と決意とが、こめられているからです。

私がまず紹介するのは、『赤穂浪士』。喧嘩両成敗の時世に、一方的に切腹を言い渡された主君の仇討ちを目論む忠臣たちの有名な話です。とは言え、そう簡単に事は成就できるものではありません。仇討ちの機会を辛抱強く待つ大石内蔵助はじめ赤穂藩士たちの、ふっとこぼす言葉の数々は、さればこそ読む人の心に強く響いてくるのです。討ち入りに洩れた落伍者の言葉もまた、狂おしいほどに胸を打ちます。

もう一作品は、『ひげよ、さらば』。テレビ人形劇にもなったので名前を知る方も多いかと思いますが、内容は意外にもハードボイルドそのもの。猫・犬・鼠の、命を掛けた縄張り闘争が描かれます。猫のリーダーとして担ぎ上げられた記憶喪失のヨゴロウザと、その相棒の片目。群れる習性のない猫を共同体として組織化する苦難の中、衝突を繰り返しながら愛憎半ばする二匹。その終焉は、片目の衝撃の告白により、もたらされるのです。

どちらも長い小説なので、寒い夜に炬燵や布団で暖まりながら、じっくり味わって読んでいただきたいです。  
(司書 O)



『赤穂浪士』上・下

大佛 次郎/著

新潮社 B 913.6 オサ



『ひげよ、さらば』

上野 瞭/作

福田 庄助/絵

理論社 913 ウ

## 『自分に正直であることの大切さ』

告白という言葉は、相手を喜ばせたり、時にはその人の人生を変えてしまったりするような深く勇気を必要とする言葉だと思います。そんな勇気をもたらしてくれる2冊を紹介します。

まず1冊目は『何かのために sengoku38 の告白』。海上保安庁の巡視船の衝突ビデオを投稿し話題となった元・海上保安官の告白。なぜ彼はビデオを公開しなければならなかったのか。仕事、家族を犠牲にしてまで世の中に伝えたかった事とは何なのかその事実が判明します。私には世の中を動かすような力もありませんが、何かのために真っ直ぐ進む姿は見習いたいと思います。

もう1冊は絵本『もりのがっしょうだん』を紹介します。少年動物合唱団に選ばれたクマ、キツネ、アナグマ、ハリネズミの4匹は居残り練習で親しくなり、その帰り道のおしゃべりはというと学校の先生の悪口をおもしろおかしく話すこと。一番小さなハリネズミはみんなと仲良しになりたいためにやさしい先生のことを悪く言い作り話を披露していました。ある日、合唱団の先生に「うつくしい声だけではなく うつくしい心で歌うこと」と言われ心を痛めたハリネズミは悪いことを許してくれると言われる「おゆるしづか」へと一人真夜中に向かうことを決心しました。実はほかの3匹も…。どちらも、自分に正直であることの大切さを感じる本です。  
(司書 W)



『何かのために

sengoku38 の告白』

一色 正春/著

朝日新聞出版

(2階一般) 557.8 イ



『もりのがっしょうだん』

たかどの ほうこ/作

飯野 和好/絵

教育画劇 日本絵本イ

## 寄贈紹介「富永児童文庫」

青少年健全育成活動の一環として、読書を通して豊かで明るい人づくり社会づくりに貢献したいという趣旨で、昭和56年に3,484冊(300万円相当)の図書で文庫を創設されました。その後も毎年寄贈していただき、今年も89冊(10万円相当)の図書をご寄贈いただきました。これまでにいただいた図書は6,856冊になります。ありがとうございました。



## 年末年始に関するお知らせ

12月29日(木)～1月4日(水)は年末年始の休館期間となります。これに伴い、12月15日(木)～12月28日(水)に貸出される資料の貸出期間を3週間に変更します。休館中の返却は、返却ポストをご利用下さい。ただし、DVD・CD・紙芝居は壊れやすいので、返却ポストには入れず、開館時に返却カウンターへお返し下さい。公民館、ふれあいセンターの図書室の休館日は、直接各館にお尋ね下さい。

## 図書館ラジオ「林 真理子」 毎月第2金曜日午後2時から、長崎シティFM(81.3MHz)「ウィーバラ ライブラリー」で放送中



### 『もっと塩味を!』

フランス料理の虜になり、全てを捨て夢に向かって走り出した美佐子。その波乱万丈の人生の結末は?小説ならではの「味」の表現を味わうことができる一冊です。

林 真理子/著  
中央公論新社  
F913.6 ハヤ



### 『幕はおりたのだろうか』

テレビ局を舞台に繰り広げられる、女性アナウンサーの熾烈な戦い。約20年前の女性の社会進出がどれほど困難で厳しいものであったか、その実状を感じることができる話です。

林 真理子/著  
講談社  
B913.6 ハヤ

## 図書貸出券には有効期限があります

- 登録された日以降の誕生日から3年2ヶ月後に期限が切れます。
- 有効期限の6ヶ月前から、貸出時に発行するレシートに有効期限を記載いたします。また、有効期限の2ヶ月前から、カウンターで更新のご案内をいたします。
- 更新手続きは誕生日から有効期限までの2ヶ月間に行ってください。
- 更新手続きには申込書の記入と、本人であること・住所・生年月日が確認できるもの(免許証や保険証など)の提示をお願いいたします。(小学生以下の方は申請書の記入のみ)
- 旧貸出券も新しい図書貸出券への切り替えを行ってください。
- 有効期限が切れた図書貸出券は利用停止となり、貸出・予約ができなくなりますのでご注意ください。

これらの旧カードは、有効期限が切れているため、ご利用いただけません。



## 長崎市立図書館 予約本ランキング (2011年11月15日現在)

順位	書名	著者名	出版社	予約数
1	マスカレード・ホテル	東野 圭吾	集英社	411
2	謎解きはディナーのあとで	東川 篤哉	小学館	369
3	真夏の方程式	東野 圭吾	文藝春秋	332
4	麒麟の翼	東野 圭吾	講談社	260
5	人生がときめく片づけの魔法	近藤 麻理恵	サンマーク出版	239
6	下町ロケット	池井戸 潤	小学館	206
7	境遇	湊 かなえ	双葉社	191
8	県庁おもてなし課	有川 浩	角川書店	158
9	心を整える。	長谷部 誠	幻冬舎	151
10	花の鎖	湊 かなえ	文藝春秋	147

※予約が集中している本は数ヶ月お待たせすることがあります。予めご了承下さい。

